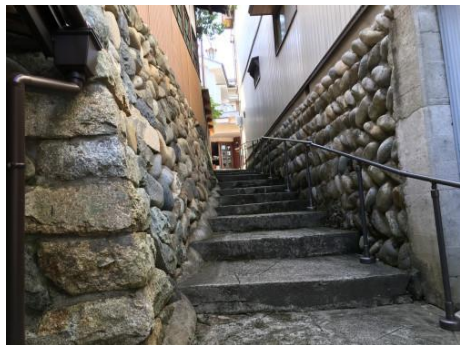


下呂歴史探訪 XVI

古くから国境の町として
重要な役割を担ってきた
金山を探訪する



東乙原村と卯野原村の山争い



筋骨巡り



金山 長福寺



柯柄八幡神社



「下呂歴史探訪」は地域文化について関心や理解を深め、ふるさとを再認識することを目的に開催します。今回は飛騨川と馬瀬川が合流する地点を中心に栄えた飛騨街道の宿場町である金山地域をとりあげ、古郷の会の桂川宗和氏と亀山武男氏にご案内いただきます。この機会に地域の歴史に触れてみませんか。

金山の境界争論と争論古文書

金山町は江戸時代には尾張藩・苗木藩・天領・郡上藩の4つの藩境であり宿場町としてたいへん賑わいました。またここではいくつもの境界争論が起きました。江戸時代の寺社奉行、勘定奉行の古文書、境界絵図等をお楽しみください。

筋骨めぐり

金山宿には全国的にも珍しい細い路地が迷路のようにからみ合う公道があり、これを筋骨と呼んでいます。三尺道(90cm)は荷車が通れる道、それより細い道は人道専用でした。街道の往来でトラブルが起きないように、住人専用の道として明治、大正、昭和と使用されてきました。昭和レトロの風情を筋骨ガイドの案内で巡ります。

昼食 旅館福寿美(元)

ご希望の方には昼食をご用意します。昭和の初めに料亭として創業、その後は旅館として宿泊客を迎えてきた福寿美は昨年の水害で残念ながら閉館されました。今回特別に昼食会場として利用させていただきます。館内の造り、調度、照明など昭和初期のレトロな雰囲気をお楽しみください。(お弁当は外部からの取り寄せになります)

金山 長福寺

1545年、僧喜山長悦首座が藤倉山長福庵を建立したのが起源。1730年、現在地に移転し山号を金山に改める。総ヶヤキ造りの破風造り、端麗荘重な建築の山門は下呂市指定文化財です。

鎮守山 観音堂

両面宿儺(すくな)が37日間大陀羅尼をととなえ、国家安全・五穀豊穰を祈願して以来この山を鎮守山と呼ぶようになりました。村人が堂を新築し靈験あらたかな観音をむかえて祀りました。聖観音立像を中心とし左右に石仏35体を祀る現在の観音堂は弘化3年(1846年)に再建されたものです。

柯柄八幡神社

延喜年間(901年)に、金山村中宮の地に氏神として八幡社が勧請されたと伝えられる。江戸時代以前には、当宮を管理するため別当職を設け、仏式に管理するための官職が置かれ、神仏習合の時代が明治の神仏分離令まで続きました。社叢・狛犬・黒獅子頭などが下呂市指定文化財。



国境争論地跡



鎮守山観音堂



福寿美



柯柄八幡神社春季例祭

11月4日

振替休日

- ◆ 参加料 (資料、保険代として)
大人 1,000円 小・中学生 500円
- ◆ 定員 40名 (締切前でも定員になりしだい締切り)
- ◆ 締切 10/28(月)
- ◆ 雨天決行 ※ 歩きやすい靴でご参加ください。

◆各地出発時間(受付は各15分前)

バスA	バスB
小坂振興事務所 8:15	下呂交流会館 8:45
↓	↓
萩原庁舎跡地駐車場 8:30	
↓	↓
金山振興事務所 9:15 開会	
(15時頃終了 バスにて各地へ)	

主催・申込み・問合せ (一財)下呂ふるさと文化財団 下呂交流会館内 電話25-5000
後援 下呂市教育委員会